

2017年9月1日

## 調査レポート

# 2017年4～6月期のGDP(2次速報)予測

調査部 主席研究員 小林真一郎

9月8日に内閣府から公表される2017年4～6月期の実質GDP成長率(2次速報値)は、**前期比+0.8%(年率換算+3.2%)**と1次速報値の同+1.0%(同+4.0%)から下方修正される見込みである。

下方修正される主因は企業の設備投資である。一方、在庫投資は上方修正されると見込まれ、公共投資も小幅ながら上方修正される可能性がある。その他の項目については、大きな修正はないであろう。

名目GDP成長率についても、前期比+1.1(年率換算+4.6%)から、同+0.9%(同+3.8%)に下方修正されると見込まれる。また、GDPデフレーターは、前年同期比-0.4%のまま修正はないであろう。

	2016年				2017年		前期比(%)	
	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	4-6 (1次)	変化幅 (%ポイント)
実質GDP	0.6	0.3	0.3	0.4	0.4	0.8	1.0	-0.2
同 (年率)	2.3	1.4	1.3	1.7	1.5	3.2	4.0	-0.8
同 (前年同期比)	0.5	0.9	1.1	1.7	1.5	1.7	2.0	-0.3
内需寄与度 (*)	0.2	0.3	-0.1	0.1	0.2	1.1	1.3	-0.2
個人消費	0.3	0.1	0.4	0.1	0.4	0.9	0.9	0.0
住宅投資	1.0	3.2	2.8	0.3	0.9	1.5	1.5	0.0
設備投資	0.2	0.7	0.0	2.2	0.9	0.7	2.4	-1.7
民間在庫 (*)	-0.3	0.3	-0.4	-0.2	-0.1	0.1	0.0	0.1
政府最終消費	1.4	-1.3	0.2	0.0	-0.1	0.3	0.3	0.0
公共投資	0.2	-0.8	-0.8	-2.5	0.6	5.3	5.1	0.2
外需寄与度 (*)	0.4	0.1	0.4	0.3	0.1	-0.3	-0.3	0.0
輸出	-0.0	-0.9	2.1	3.1	1.9	-0.5	-0.5	0.0
輸入	-2.0	-1.2	-0.2	1.4	1.3	1.4	1.4	0.0
名目GDP	1.0	0.0	0.1	0.5	-0.0	0.9	1.1	-0.2
同 (年率)	3.9	0.1	0.4	2.1	-0.2	3.8	4.6	-0.8
同 (前年同期比)	1.4	1.3	0.9	1.6	0.7	1.3	1.6	-0.3
GDPデフレーター (前年同期比)	0.9	0.4	-0.1	-0.1	-0.8	-0.4	-0.4	0.0

(注) 内需寄与度、民間在庫、外需寄与度は実質GDPに対する寄与度(出所)内閣府「四半期別GDP速報」

主な需要項目別の動向（実質ベース）は以下の通りである。

- ・ 個人消費、住宅投資は、その後発表された統計を勘案しても、大きな修正はない見込みである。
- ・ 民間企業設備投資は、需要サイドの統計である 2017 年 4～6 月期の法人企業統計において、季節調整済みの設備投資が前期比 - 2.8%と減少したことなどを勘案すると、1 次速報値の前期比 + 2.4%から同 + 0.7%に下方修正されると考えられる。
- ・ 在庫投資は、4～6 月期の法人企業統計の結果を踏まえると、実質 GDP に対する前期比寄与度は 0.0%から + 0.1%に上方修正されるであろう。
- ・ 公共投資は、6 月の建設総合統計の結果を反映すると、1 次速報値の前期比 + 5.1%から同 + 5.3%に小幅ながら上方修正されると予想される。
- ・ 輸出及び輸入については 1 次速報値からほとんど変更はないとみられ、実質 GDP に対する前期比寄与度も 1 次速報値の - 0.3%のままであろう。

- ご利用に際して -

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。